

ともに生きる

時々迷々

「タカツグくんの字」
「ケイスケのいない学級会」
「折れた翼」
「友達ランキング」

放送日:2011年2月～5月 放送時間:15分×4本



対象校種 小学校3～5年

対象教科 道徳 特活

この番組の良さ



● 小学生のよくある日常から考える道徳

小学校中学年は、一般的にギャングエイジと呼ばれる発達期であり、好奇心旺盛で活動範囲が広がる特徴があります。また、友達から様々な影響を受けたり、友達との関わり方に悩んだりすることも見られる時期でもあります。

この4本の番組は、中学年児童の学校生活の中で起こる友達との関わり方や、正直に生きることについて考えることができる内容を集めています。特に、小学生のよくある日常で主人公が悩んだり、傷ついたり、考えながら成長していく姿と自分を合わせながら視聴することができるので、同じ年齢期の児童にとっては共感することが多くあります。番組視聴をきっかけに、自分の生き方について考えることができます。

● 結末を想像して考える

この4本の番組は、『時々迷々』の放送リストの中でも、主人公が悩み変容していく結末が曖昧に終わる展開になっています。視聴後、その後の主人公の心や行動の変化を想像したくなります。視聴をきっかけに、「自分ならどうするか」を自分ごととして捉え、自分の生き方や友達との関わり方を考えることができる番組です。

番組活用のポイント

● 友達との関わり方を考える

(対象番組「タカツグくんの字」「ケイスケのいない学級会」「友達ランキング」)

小学校中学年(ギャングエイジ期)は、仲間意識が強くなる傾向があります。友達との関わりの中でできたルールを重視したり、「友達と同じ考えだと安心である。」(同調性バイアス)というような姿が見られたりすることもあります。また、相手の考えを聞く前に、自分の価値観で決めつけてしまい(認知バイアス)、トラブルに発展してしまうこともあります。3本の対象番組は、友達への一方的な決めつけや思い込みを発端にして、友達とのよりよい関わり方や友達を思いやることの大切さを考える学習で活用することができます。特に、番組の後半で、主人公の気持ちが変容する場面がありますので、「どう変わったのか、なぜ変わったのか」を意識させて視聴すると、児童同士、学級全体での意見交流が活発になり、さらに自分の考えを深めることができます。

● 正直な心と勇気ある行動 (対象番組「折れた翼」)

周りから自分がどのように見られているか気になり始め、認められたいという欲求が強くなる小学校中学年時期。友達から認められたいために、見栄を張ってしまったり、悪い事だとわかっていても、友達との会話の流れで行動してしまったりすることがあります。本番組の視聴をきっかけにして、正直や素直な心について考える学習で活用することができます。特に、主人公がどのように行動したのか描かれることなく番組が終わりますので、その後の主人公の行動や生活について児童各自で想像することができます。主人公の行動や変化について、気づいたことや考えたことについて意見を出し合い、児童同士で交流しながら学び合うことができます。

● 番組視聴×GIGA端末活用をした授業

全国の小学校では、GIGAスクール構想事業により一人1台端末の環境が整備され、活用が進められています。例えば、学習前に意識調査を行なって結果を提示し、その結果から課題へ繋げたり、番組視聴中の気づきを端末に書き込み、視聴後、全体で共有しながら話し合ったりする学習活動ができます。このように端末を活用することで、互いの考えを視覚的に見ながら交流することができ、学習前、学習中、学習後と変容する自分の学びの履歴を残すことができます。番組視聴とGIGA端末活用を合わせて授業デザインをすることをお勧めします。



執筆者
北海道石狩市立双葉小学校
教諭 前多香織

本当の友達って何だろう？

[授業時間 45分]

まるごと視聴

番組：友達ランキング

児童の思考と活動の流れ	教師の支援と評価
<p>友達は、たくさんいた方がいいのかな？</p> <pre> graph TD Q1[友達は、たくさんいた方がいいのかな？] --> A1[たくさんいた方がいい もっと楽しくなる] Q1 --> A2[どちらも言えない 多すぎても...] Q1 --> A3[少なくともいい 大切な友達がいればいい] A1 --> Q2[自分にとって、友達って何だろう？] A2 --> Q2 A3 --> Q2 Q2 --> Q3[本当の友達って何だろう？] Q3 --> V[まるごと視聴をする(15分)] V --> C1[みなみ(友達) ・自分のことしか考えていない ・ゆりこのことを大切にしていない] V --> C2[ゆりこ(主人公) ・プロフィールを集める≠友達のあかし ・プロフィールの数≠友達の数 ・友達をランク付けしてはいけない ・親友(かよ)を裏切った ・ひとりぼっちになった] V --> C3[かよ(友達) ・ゆりこの気持ちを理解している ・ゆりこを心配している ・ゆりこを大切にしている] C1 --> Q4[ゆりこにとって、本当の友達是谁かな？] C2 --> Q4 C3 --> Q4 Q4 --> R1[「かよ」だと考える(理由) ・いつもゆりこのことを気にして心配していたから ・裏切られたのに許しているから ・ひとりぼっちになったゆりこの側へ行き、励ましたから] Q4 --> R2[「みなみ」ではない(理由) ・都合のいい時だけ、ゆりこに優しくしていたから ・ゆりこが困っていても協力しなかったから ・ランク付けしていたゆりこを許せなかったから] R1 --> B1[本当の友達って、何だろう？今日の学びを生かして自分の考えをまとめる。] R2 --> B1 B1 --> B2[本当の友達とは、どんな時でもお互いを信じ合って付き合うことができる人だと思います。私は、いつまでも親友を大切にしていきたいと思いました。] </pre>	<ul style="list-style-type: none"> ・「あなたには友達いますか？」「どのような関係の人を友達というのか」と聞く。(端末を活用し、アンケートを取り、結果を提示してもよい。) ・「友達はたくさんいた方がいいのかな」と聞く。(なぜそう思うのか理由も聞く。) ・今日の学習で考えることに話題つなげて、めあてを確認する。 ・主人公(ゆりこ)と二人の友達(かよ、みなみ)の言動で気になることをメモしながら丸ごと視聴する。(端末を活用し、クラス全員が共有できるファイルに書き込みながら視聴してもよい。) ・登場人物の言動で気になったことをペア交流で考えを広げた後、全体交流で発表し、情報を整理する。 ・主人公(ゆりこ)にとって本当の友達是谁か。」と聞く。(考えた理由も聞き、まとめる。) ・今日の学習を通して、考えたことを学級全体で交流する。 <p>【道徳的意欲と態度】 友達と本当の友達の違いについて気づき、本当の友達の良さを感じて大切にしようと思ったか。(B-9 友情・信頼)</p>